



絵本で子どもと向き合う時間を・・・

家族での楽しい夏の思い出が、自然と子どもたちの口々からあふれ出てくるこの時期は、一方でひと夏が過ぎ、少しずつ朝夕に秋の気配が感じられる時期でもあります。この夏、子どもたちの心には、どんな経験や思いが刻まれたのでしょうか。いよいよ、子どもたちの遊びや活動が一番活発になる二学期が始まりました。

さて、七月の「園のたより」では、子どもたちに語って聞かせることの大切さ、人生で大事なことは、大人がいつもそれを語って聞かせてやることで、初めて子どもの心に刻まれていきますよ、という意味のお話をしました。それは、タブレットやスマホに子育てを任せてはいけませんよ、という強い思いを皆さんにお伝えしたかったからなのですが、「ではどうしたらいいの?」「いつも子どもになにかのお説教?」という声が聞こえてきそうです・・・。

実はそれには、最も伝統的で、効果的な方法があります。それは、「絵本の読み聞かせ」です。な～んだという声が聞こえてきそうですが、実際はこれが日々いろんなことに追われているお父さんやお母さんには、なかなか出来ないことが多いんですね。

テレビやスマホを見せておけば、家事に集中できるし、疲れて帰ってきたら自分の休息に時間を取られて、なかなか子どもと遊ぶどころか、絵本の読み聞かせなんてしんどくて無理。それも、よくわかります。でもね、本当はね、どの子どもでも、親に自分の方を向いてもらって、大好きなお父さん、お母さんとお話したい、遊びたくて仕方がないのです。絵本の一冊でも優しく読んでほしいんですね。スマホでは、やっぱり子どもの心は満たされないんです。

小学生ならまだしも、乳幼児なんてどう相手して遊んだらよいか分からないお父さんなんて、実はいっぱいおられます。テレビゲームで育った世代のお母さんも一緒に、アナログの世界で自分があまり遊んだことがないと、なかなか絵本の読み聞かせなんて難しそう、書店に行っても絵本には手が出ないかもしれません。絵本なんて、子どもに渡しておけば、自由に見てるんだから、それでいいのでは?と思われ方も多いと思いますが、実はそうではないのです。

「絵本は、大人が読んで聞かせるもの」「絵本は大人も読んで楽しいもの」「絵本は字を読むものではなく、絵を見て楽しむもの」「絵本のお話は、大人が自由にお話を作って読み聞かせてよいもの」なんです。

ですから、難しく考える必要はなくて、どんな絵本でもよいのでオススメ本を図書館で借りたり、アマゾンのキンドルを使ってタブレットで見せても良いので、親が「これ、おもしろいね」と思った絵本を、親の膝の上で、ベッドの中で下手でもよいので、子どもと何か話しながら、ゆっくり読み聞かせするだけで、大丈夫。ルールや技術は必要ありません。そして、子どもがある場面でニコッと笑ったり、もう一度と読んでとせがんできた絵本は、何度も何度も読み聞かせてあげてほしいのです。

そして、何より**「絵本は知識や教訓を伝えるものではなくて、『親から読んでもらう幸せ』を感じとるもの」「絵本を真ん中にして、『親とお話できる時間の幸せ』を感じるもの」と**捉えてほしいと思っています。

この『幸せ』は、絶対にスマホやテレビは与えてくれません。絵本を真ん中にして、親としっかり向き合い、つながっている喜び、親の無上の温かさを体感する喜びを子どもに与えてくれます。この喜びが、子どもの親に対する絶対の安心感と信頼感を育ててくれるのです。この感情が、これからの子どもの人生の柱になるんです。

そして、さらに良いことには、絵本はあんなに小さな絵の中に、子どもが体験したことのない、未知の世界、新しい想像の世界がいっぱい詰まっているのです。絵はアニメや動画のように、一方的に動きません。それをじっと眺めていると、むくむくと子どもの頭の中に様々な色や形が現れ、ストーリーが思うように作られていきます。それが子どもにとっての「新しい世界」です。

書棚から手に取るだけで、「新しい世界」を子どもたちに提供してくれるもの、それが絵本です。電気も機械も必要ありません。

木の実幼稚園では、新ホール一階 東半分に「みなる文庫」を設け、「絵本とおもちゃのライブラリー」を現在も整備を続けています。乳幼児用の良質な絵本のみならず、図鑑や写真集、アートの本を今年度中に300冊を目標に整え、データ化し、保育用のみならず保護者のみなさんへの貸し出しも出来るよう、作業を進めています。また一方、豊かな遊び体験を提供してくれる良質で、デザイン性の高い木質やアナログの玩具もそろえる作業を進めています。

アナログな遊びの世界こそが、子どもの「幸せ」の原点であるとの信念で、これからも木の実幼稚園は、子どもたちを、そして保護者のみなさんを支えてまいります。

まずは、みなさん、各ご家庭で絵本の読み聞かせから、いざ始めましょう !!!



行事予定



- 2 (月) 2学期始業式 (午前保育) 早朝・保育終了後の預かり保育はありません。
同日 新年度入園願書配布開始
- 3 (火) 平常保育、給食開始
- 7 (土) 令和7年度入園児対象体験保育 9時～12時30分まで (2部制) ※在園児はお休み
- 13 (金) **お弁当日**
- 25 (水) 第2期保育料等引き落とし 8～11月分の保育料と諸雑費が引き落とされます。
※詳細は、後日お知らせする各自の諸雑費をご確認ください。
- 27 (金) ナースリークラス親子イベント 詳細は後日配布するお便りでご確認ください。

移動動物園について

お知らせの通り、今年度の移動動物園を以下の日程で行います。年齢に応じて動物の種類や内容を設定し、子ども達のよい学びとなるよう検討しております。詳しくは、別紙でお知らせ致しますので、ご覧下さい。

※基本は雨天実施ですが、雨の状況によっては、内容や日程が変更になる場合があります。

9月 5日 (木) 年長組 / 6日 (金) 年中組 / 10日 (火) 年少組

歯科検診について

今年度の歯科検診について、以下のように日程が決まりましたので、お知らせ致します。

検診：中辻歯科医院 中辻勇志医師

9月12日 (木) 年長組 / 19日 (木) 年中組 / 26日 (木) 年少組

※いずれの日程も検診は、13時からとなります。



お知らせ



☆令和7年度新入園児の願書について

- ・9月2日より願書の配布を始めます。例年通り、園児を通じての願書の配布は致しませんので、必ず幼稚園まで願書を取りに来て下さい。願書にはナンバーを打っております。願書の受け取りを他の人に依頼は出来ませんが、必ず依頼された方の名前、住所、電話番号などお知らせ下さい。
- ・願書受付は、**10月1日 (火)** からとなります。

☆令和7年度入園児対象体験保育

9月7日 (土) は、来年度入園希望者対象の体験保育です。参加申し込みは、お電話にて承っております。ご希望の方はお早めにお申し込み下さい。※9時～12時30分まで (2部制)

☆今年度の運動会について

阪南大学高校野球部グラウンドで午前・午後に分けて分散実施を予定しております。昨今の異常気象に合わせて、今年度も予備日を拡大しており、**10月12日(土)本番以外に、13日(日)、14日(月)、15日(火)と平日も含めて予備日としております。**台風や降雨による準備の可否・グラウンドの状態に合わせて柔軟に開催日を決定致します。尚、午前、午後の振り分けは交代制としますので、令和6年度は、午前中がBグループ、午後がAグループの開催となります。